

- 1 学 年 第3学年3名, 第4学年5名
- 2 日 時 平成27年1月21日(水) 第5校時
- 3 場 所 体育館
- 4 題材名 段ボールタワー～四季のイルミネーション～
- 5 題材の設定理由

○ 本題材は、小学校学習指導要領図画工作、第3学年及び第4学年の内容「A表現(2)」を受け、光や影の味わいを生かした段ボール工作の学習である。光を生かした表し方に興味を持ち、その効果を確認しながら発想し、光の特長をいかしながらつくることをねらいとしている。穴をあける位置や大きさ、数または形によって味わいが異なってくることに試行錯誤しながら気づくことができる。また、あけた穴に色付きのフィルムを貼ることで色により連想するイメージが異なることにも気づくことができるものである。段ボールを材料に選ぶにあたっては、3つの理由がある。1つ目に、児童の身近にあるものを用いることで材料に親しみをもてること、2つ目に、紙の中でも少し抵抗感のある材質のおもしろさを味わえること、3つ目に、ある程度の堅さがあることで児童の手や体全体の感覚を働かせる活動になることである。

本題材では、ペアごとに春夏秋冬のテーマで制作していく。テーマを持たせることでそれぞれのテーマから児童がイメージしたことを色や形で表現することができる。

○ 本学級の児童は、全員が図画工作科の授業が好きと答えている。(10月22日実施 8名) 図画工作科に対する意欲や関心は高いと言える。しかしながら、身近にある材料である段ボールを使って工作をした経験のある児童は4名である。また、「普段工作をしていますか」という問いに「はい」と答えたのは1名であった。また、「普段色や形を意識して景色を見えていますか。」の問いに「はい」と答えたのは2名であった。このことから本学級の児童は図画工作科に対して意欲や関心は高いが、普段から工作に親しんでいるわけではないということと普段の生活の中で美意識をはぐくむために大切な色や形に対する感覚を豊かに持って生活しているわけではないということがわかる。

○ 指導に当たっては、まず、テーマに対するイメージをイメージマップにかかせる。映像や画像でイルミネーションを見せたり、四季を感じる視覚的な資料を提示した後に、もう一度イメージマップをかき想像を膨らませたりするようにする。イメージマップを交流することで他者のもつイメージと自分のイメージの相違に気づけるようにする。このような活動を通して言語活動の充実を図る。

次に、イメージマップに出てきた言葉を色や形に置き換えさせることで、作品の具体化に向けての手掛かりとする。

さらに、イルミネーションに全校を招待して楽しんでもらうことを設定することで、作品を見る相手を少しでも意識するとともに喜んでもらおうという意欲を持たせたい。

活動の始めには、段ボールカッターの使い方やフィルムの貼り方など基礎的な技能を習得する時間を設け技能の向上を図るようにする。

評価に関しては、3年生は作品づくりに対する意欲や関心・発想や構想の能力を重点的に評価する。4年生は発想や構想の能力及び用具や材料の工夫などの技能を重点的に評価する。

## 6 評価規準

- 段ボールやフィルムを使って進んでイルミネーションを作ろうとしている。 (造形への関心・意欲・態度)
- 段ボールを切った形や色をもとに、表したいことを見つけている。 (発想や構想の能力)
- 切った形やイメージに合った色を生かしながら、用具や材料を使いながら表し方を工夫している。 (創造的な技能)
- 感じたことを話したり、聞いたりしながら、作品の色や形の面白さを感じ取っている。 (鑑賞の能力)

## 7 計画

- |     |                              |             |
|-----|------------------------------|-------------|
| 第1次 | 題材のイメージを広げよう・・・・・・・・・・・・・・・・ | 1時間         |
| 第2次 | 段ボールカッターの使い方に慣れよう・・・・・・・・    | 1時間         |
| 第3次 | 段ボールイルミネーションを作ろう・・・・・・・・     | 4時間 (本時3/4) |
| 第4次 | 東小のみんなを招待しよう・・・・・・・・・・・・・・   | 1時間         |

8 本時の目標

作品のコンセプトを紹介することを通して、感じたことや考えたことを交流し、自分のイメージに合わせた表し方の工夫や改善点に気づくことができる。

9 本時の展開

学習活動	指導上の留意事項	[観点]評価規準 (評価方法)
<p>1 前時を振り返り、本時の学習の見通しを持つ。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="153 663 1106 768" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     作品のコンセプトを紹介し合い、感じたことや考えたことを交流して改善点を見つけよう                 </div>	<p>◇前時までの自分たちの活動や第1次に見た映像などを電子黒板で振り返ることによって自分たちの作品への期待を高めるようにする。</p> <p>◇交流の後仕上げる時間をとることを伝え、より良い作品を作るための交流になるように意欲づける。</p>	
<p>3 試写会を行って作品のコンセプトを紹介し合い、表し方の良さや改善点について話し合う。</p> <div data-bbox="121 1133 1102 1402" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;予想される児童の反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あの形はスイカの形をイメージしているのかな。</li> <li>・夏は暑いので暖かい感じの色、冬は寒いので冷たい感じの色だと思ったけど、夏は海の青や冬には暖炉の赤など人によって感じる色が違うんだ。</li> <li>・桜を表したいのなら、たくさん花びらの形に切って桜の花が散っているようにしたらどうかな。</li> </ul> </div>	<p>◇各グループの作品をじっくりと見る時間を設定し、気づきや思いを持たせるようにする。</p> <p>◇イメージマップや学習の足跡カードをもとに自分たちのイメージしたものを形や色に着目させながら説明できるようにする。</p>	<p>[鑑賞の能力]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の色や形の面白さを感じ取っている。</li> </ul> <p>(発言)</p> <div data-bbox="1147 1084 1449 1370" style="border: 1px solid black; background-color: #e1f5fe; padding: 5px;">                     感じたことや考えたことを交流させる。                      キーワード                      ・イメージ                      ・色                      ・形                 </div>
<p>・改善点を学習の足跡カードに書き込む。</p>	<p>◇改善点を学習の足跡カードに書き込むことで、これから仕上げをしていく際の足掛かりにできるようにする。</p>	<p>[発想や構想の能力]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色や形に着目して表したいことを見つけている。</li> </ul> <p>(学習カード)</p>
<p>4 交流をもとに仕上げをする。</p> <p>5 本時のまとめと次時の確認をする。</p>	<p>◇交流で気づいたことやもらったアドバイスをもとに、形や色を工夫してよりよい作品を作ることができるようにする。</p> <p>◇本時の活動のまとめをし、次時は作品を完成させて他の学年を招待する準備をすること伝える。</p>	

言語活動の充実